

黒潮

和歌山県看護協会 会報

第144号

平成30年8月発行



表紙写真提供/白浜はまゆう病院 森本 卓馬 様



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 和歌山県看護協会

発行所 公益社団法人 和歌山県看護協会

発行人 古川 紀子

〒642-0017 海南市南赤坂17番地 TEL.073-483-1005 FAX.073-483-1266

<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

CONTENTS

- 地域包括ケアに向け看護の役割発揮を … 2
- 平成 30 年度 新理事あいさつ … 2
- 日本看護協会会長表彰を受賞して … 3
- 和歌山県看護協会会長表彰 …… 3
- 保健師のコーナー …… 4
- 助産師のコーナー …… 4
- 看護師のコーナー …… 4
- 地域連携のコーナー …… 5
- フレッシュナース …… 5
- 和歌山県看護協会の災害への取り組み①
(トピックス 2018) …… 6
- 医療安全数珠つなぎ …… 8
- 訪問看護ステーションだより … 8
- リレーエッセイ 友達の輪 …… 8
- 男の時短料理 …… 8
- 施設だより …… 9
- ナースディフェスタ和歌山 …… 10
- 世界禁煙デーフォーラム 2018 … 10
- 第 234 回全国禁煙アドバイザー
育成講習会に参加して …… 10
- 平成 30 年度日本看護協会
通常総会代議員からの報告 … 11
- 和歌山県看護協会の動き …… 11
- 平成 30 年度
役員および各委員会名簿 …… 12

和歌山県看護協会会員数

平成 30 年 7 月 25 日現在 登録者数

会員総数	6,080 名
名誉会員	1 名
保健師	137 名
助産師	217 名
看護師	5,548 名
准看護師	177 名

地域包括ケアに向け看護の役割発揮を

公益社団法人 和歌山県看護協会 会長 古川 紀子



会員の皆様におかれましては、平素から、和歌山県看護協会の事業推進にご支援ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、6月10日(日)に開催いたしました、平成30年度和歌山県看護協会通常総会におきまして、仁坂和歌山県知事様、尾花和歌山市長様をはじめ多くのご来賓の方々、また多数の会員の皆様のご参加を頂き開催することができましたことにお礼を申し上げます。また、12名の方が和歌山県看護協会会長表彰を受賞されました。おめでとうございます。

和歌山県では、これからの急激な少子高齢社会に向け、平成28年5月「和歌山県地域医療構想」が、また平成30年3月に「第七次和歌山県保健医療計画」、「わかやま長寿プラン2018」が策定されました。

医療において、「病院完結型」から「地域完結型」へと大きな変革の時を迎えようとしています。県民の皆様が、地域でいきいきと安心して生活できる環境づくりが求められており、看護職の役割が拡大し一層重要となっております。

今後も、看護の質向上、看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくり、人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を使命として活動してまいります。

さて、日本看護協会では、会員の皆様のキャリア構築を支援する会員専用WEBページ「キャリアナース」を今年

6月中旬から提供を開始しております(都道府県看護協会や日本看護協会を受講した研修履歴の確認が可能)。ぜひキャリアナースへのご登録をお願いします。

平成31年8月8日(木)・9日(金)の両日、和歌山県民文化会館において、第50回日本看護学会 看護教育 学術集会を1,500人規模で開催を予定しております。現在、準備委員会を立ち上げ来年に向け活動しているところです。詳細が決まりましたら、随時ご報告をさせていただきます。

今後も、看護職能団体として、県民の皆様の健康と生活を支えるという社会的使命を果たしてまいりますので、今後ともご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

●●● 平成30年度重点事業 ●●●

1. 看護実践能力及び専門性の強化
2. 働き続けられる環境づくりと人材確保定着の推進
3. 県民の健康な生活の実現の推進
4. 地域包括ケアシステムの構築と推進
5. 保健師活動の体制整備と機能強化
6. 助産実践能力強化とその体制整備

平成30年度 新理事あいさつ



看護職養成の現場から、県看護協会の目的達成のため尽力いたします。

副会長 石本 千珠



地区支部の皆様と共に、地域貢献に繋がる活動になるように努めます。

伊都地区支部長 鞠谷 博子



地域の看護の質向上と住民のニーズに応える活動を行います。

那賀地区支部長 藤本 美幸



会員の皆様と共に、協会、地区支部発展に尽力致します。

海南・海草地区支部長 楠岡 誠



施設間の連携を強化し、地区支部の皆様と共に地域貢献に努めます。

有田地区支部長 松下 津也子



看護職の活躍を支援し、地域医療に貢献できるよう努めてまいります。

日高地区支部長 小松 香世美



地区支部の皆様のご協力のもと、役割が果たせるよう努めます。

田辺地区支部長 鈴木 正代



皆様にご指導いただきながら精一杯努めてまいります。

准看護師理事 狩谷 勇人



客観的に理事会や協会運営を見守り監事としての役割を果たせるよう頑張ります。

監事 澤越 純子

日本看護協会長表彰を受賞して

上田 陽子



この度は、栄えある日本看護協会長表彰を賜りましたこと、身に余る光栄に存じます。受賞の一報を頂いた時、私が?と信じられない気持ちでした。ご推薦下さいました関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

看護師になって47年、病院や福祉の現場で患者様・利用者様の安全安心を第一に、社会の変革に応じた看護を誠実に取り組んでまいりました。

少子超高齢化を迎え、私たち看護職は、専門職としての役割を社会から期待されています。看護職が社会のニーズに応えやりのある仕事ができるように、今後も協会活動に協力していきたいと思っております。

和歌山県看護協会長表彰

表彰された皆さんの声を聞いてみました!

- ① 抱負・モットー ② 後輩に伝えたい一言



- ① 人生なんとかなる!
② 助け合って、皆で力を合せて頑張ってください。

田辺市健康増進課 つゆづめ 露詰 公子

- ① 人生に失敗がないと、人生を失敗する (斎藤茂太)
② 迷った時は基本を、悩んだ時は目的を考える

湯浅保健所 保健師 山本 昌代

- ① 健康を維持し、看護の道を全うしていきたい
② 真心をもって他の為につくす

名手訪問看護ステーション 上門 佐規子

- ① 倦まず弛まず (うまずたゆまず) コツコツと
② 明るく前向きに、結果はあとからついてくる

日本赤十字社和歌山医療センター 西 勝美

- ① 仕事は楽しく、思いやりの心で
② 日々の経験と学びを大切にしてください

日本赤十字社和歌山医療センター 山崎 裕子

- ① 何事にも志を持って取り組む
② 「できる?」と尋ねられたら、「できます!」と答えなさい。やり方は後で…いいのです

和歌山県立医科大学附属病院 寺本 ゆみ

- ① 感謝の気持ちを忘れず努力していきます
② いろんなことに挑戦して経験を積んで下さい

和歌山県立医科大学附属病院 池下 ゆかり

- ① 忙しい時こそ明るく元気に前向きに
② 患者の気持ちに寄り添う看護を

和歌山労災病院 岩橋 佳代

- ① 何事も気楽にやればうまくいく
② 体験することではじめて身につく

国保野上厚生総合病院 井堰 哲明

- ① 前向きな姿勢。責任を持つ
② やりがい、誇り責任をもって

国保日高総合病院 松本 厚美

- ① いつも元気に、前向きに!
② 自分がされて嫌なことは人にしない

紀南病院 中本 千秋

- ① 壁は越えられる人の前にだけ現れる
② 自分と未来は変えられる。チャンスを大切に!

新宮市立医療センター 坂本 美弥

保健師のコーナー

有田市包括支援センター 坂部 美紀



保健師の代名詞「黒い靴」を掲げて30年、ご縁と地縁があってH30年4月に、長年連れ添った保健部門から地域包括支援センターに異動となりました。

保健師の役割や機能、また、それに伴う制度や教育、人材育成の場等が大きく変化する中で、これまで勤めてこれたのは、家族や職場内外、地域の朋輩（共に支え合う）仲間達が存在してくれたからだと思います。

20才代の頃、先輩から「自分のライフサイクルに伴い、保健師としての関心事も変化していくよ」と教えてもらいました。まさにその通り、この20年、子育てや介護を経験する中で、自分を取り組んでいきたいと感じる業務も変化をしていきました。

保健師活動指針にも掲げられているように、保健師が担う業務は多種多様となり、また、同じ自治体内でも配置が分散化して、全ての保健師が顔を揃え合う機会も少なくなってきました。

ます。そんな中で、統括保健師として位置づけられた者は、日々重責と使命を負う事になります。

カリスマ保健師の中板育美さんのように、いつまでもパワフルに美しく働き続けるには、自分の職場だけでなく和歌山の保健師の持ち味とされてきた県や市町村、その他の部門で頑張る保健師が職域や年代を超え、しんどさや楽しさを分かち合う必要が有るのではと感じます。

今年度も看護協会（保健師である古川会長や小川職能委員長）を支える一員として、委員会の仲間とランチを心の糧にして、はっけよい＝発気揚々と楽しく企画運営させていただこうと思っておりますので皆さんよろしくお祈りいたします。ご多忙中、ご一読いただき誠にありがとうございました。

助産師のコーナー

和歌山県立医科大学附属病院 総合周産期母子医療センター 片山 祐理



平成29年度より、助産師職能委員を務めさせていただき2年目を迎えます。助産師職能委員会では、①助産師のキャリアパス/助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）の普及と啓発、②助産実践能力向上のためのキャリアアップ研修会の開催、③地域母子保健活動の推進を目標に活動しています。特に、助産師実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢであるアドバンス助産師申請のために、必要な研修会の開催に力を入れて取り組んでいます。

助産師職能委員となってから、日本看護協会会長の福井トシ子先生の激励を受ける機会が何度かあり、私自身もアドバンス助産師としてお母さんと赤ちゃんに寄り添い、安全で安心な出産と育児をサポートしていきたいと改めて思いを強くしました。

私が勤務する大学病院では、今年1月からアドバンス助産師が担当する助産外来を開設しました。まだ対象者の方が少ない現状ですが、地域の分娩施設としての役割もあるため、今後さらに助産師の力を発揮できるよう体制を整えていきたいと考えています。

和歌山県内の分娩件数が減少傾向のなか、妊娠や出産・育児への不安が強く、特別なサポートが必要な方が多くいます。助産師職能委員会では、他施設の助産師の方と様々な情報交換ができることが強みです。これからも地域の関係機関と連携し、一人一人に適した妊娠・出産・育児への継続したケアを提供していきたいと考えています。

看護師のコーナー

医療法人宮本会 紀の川病院 加藤 博之



看護師職能委員 I

2017年度看護師総数は、日本看護協会調査では1,558,340人で准看護師は347,675人が就業しています。男性の占める割合は2016年では6.89%と毎年増加していますが、まだまだ少ないのが現状です。看護師職能Iでは、男性NS交流会を毎年開催し、和歌山県で働く男性NSの交流を深めています。昨年度は、他府県の男性NSもお招きし「スペシャリスト」「ジェネラリスト」「育児に積極的な立場」として体験談を講演して頂き、大変高評価でした。グループワークでも若いNSは、ベテランのNSに「同性なので悩みを話せた」ベテランNSからは若いNSの前向きな姿に「パワーをもらえて元気になった」との意見も頂きました。日頃から研修会に積極的に参加するメンバー

は、知識も豊富で看護にも熱いので、交流を深めることで互いに成長し合えると思います。

今年度は2019年2月16日（土）紀南地区で予定しております。今回は、紀南地区の男性NSと紀北地区の男性NSの交流を深め、「看護」について語り合い、和歌山で働く男性NSの「絆」を深められればと考えています。研修会後には、看護師職能I委員を交え、雰囲気を変えた親睦会も予定しておりますので、多数の参加をお待ちしています。

最後に准看護師養成所の廃校や移行教育での看護師資格取得で、准看護師は年々減少傾向にあります。看護師職能Iでは、和歌山県下で働く准看護師の就業実態調査をアンケートで行いますので、その節は御協力の程、宜しくお祈り申し上げます。

看護師職能委員 II の活動紹介

訪問看護ステーションなだい 矢出 装子



私は看護師職能委員IIの活動に参加させて頂き、看護協会や委員の方々に温かく教わりながら2年目を迎えました。和歌山県の看護の質の向上に寄与できるよう、委員会では、地域で働く看護職の現場の声を反映させ、委員の方々と意見交換を行いながら研修の計画、立案などを行っています。今年度は、和歌山県訪問看護連絡協議会との連携に向け、出前研修を共催で開

催する予定です。テーマは認知症について、開催場所は6地区（和歌山市、海南海草、紀北、紀中、紀南、新宮）で開催予定ですので、日々お忙しい皆様にもご参加して頂きやすいかと思っております。

また、委員会で数年かけて取り組んできました、介護施設の

看護職員等のための看取りのためのパンフレットが完成し、対象施設へ配布することができました。地域住民の自分らしい生き方を支えていけるよう、現場で活用していただくためにパンフレット活用のための研修も企画しております。

他には、職能Ⅱ研修として在宅版クリニカルラダーの活用についての研修を予定しています。クリニカルラダーは施設内で

の教育や看護師育成での活用、看護師自身での自己評価、組織力強化などで活用出来ると思います。今後も、日々の現場での実践につながるような、魅力ある研修を計画していきますので、是非皆様にご協力とご参加いただけるようお願い申し上げます。

地域連携のコーナー

地域連携室の活動、取り組みについて

済生会和歌山病院 連携室 退院支援看護師 柴崎 寿江



当院は一般病棟 160 床と回復期病棟 40 床を有した急性期病院で、地域連携室は社会福祉士 3 名、医療事務 2 名、退院支援看護師 1 名で構成されています。主な業務内容は、診察・検査予約、紹介患者様の受入、入院受入調整、転院調整、退院支援業務、医療・福祉における総合相談窓口となっており、地域の中核病院としての役割の重要性を日々感じながら業務にあたっています。

近年、地域包括ケアシステムの構築と連携が推進されるなか、当院でも退院支援業務を見直し、連携室の社会福祉士・退院支援看護師が、病棟看護師と積極的にコミュニケーションを図りながら、退院支援に取り組んでいます。また入院早期に患者本人・家族との面談を実施、担当ケアマネジャーさんや患者様を

支える地域医療との連携を図りながら支援を行っています。地域医療へのスムーズなバトンタッチが病院の役割であると考えており、「地域完結型」医療を目標に、患者様の退院後の生活を見据えた支援を行っていきたくと考えています。

今後も連携室としては、病棟看護師と地域医療をつなぐ役割をしっかりと担い、患者様が安心して退院できる環境づくりができるように努めていきたいと思ひます。また当院の病院理念である「私たちは、地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気が出る病院を目指します」をモットーに、今後も地域の医療機関、関連する施設との密な連携と、患者様がどんなことでも相談できる場所でありたいと思ひます。

☆☆☆ フレッシュナース ☆☆☆



海南医療センター
池田 美奈

4 月から海南医療センターの看護師として働き出して 3 か月が経ちます。まだ、知識や技術において不安な部分も多いですが、プリセプターや先輩看護師、同期たちに支えられ頑張っています。何より患者さんやその御家族に「ありがとう」と言ってもらえることが励みになります。

1 年目の新人ですが、1 人の看護師として患者の安全で安楽な看護ができるよう、ひとつひとつの行動に責任を持っていかねばならないと思っています。看護において迷った時は、まず患者さんの立場になって考え行動するように心がけ、先輩看護師のようにその人に寄り添った看護が提供できるようになりたいです。



紀南病院
芝 彩嘉

私が助産師を目指したのは、母性看護学担当の先生（助産師）への憧れと、実習で命の誕生に立ち会ったことがきっかけです。無事国家試験に合格でき、4 月より助産師として産婦人科病棟で働いています。職場にも慣れ、少しずつですができる業務も増え、喜びを感じる一方で、ケア一つ一つの責任の重さも感じています。

ある時、患者様に「また子どもができたら帝王切開になると思うけど、その時はあなたが立ち会えるよう頑張るね」と言っていたことも私の支えとなっています。

これからも患者様、ご指導いただいている先輩方や支えてくれている家族に少しでも報いることができるよう、そして寄り添った看護を行うことができるよう頑張ります。



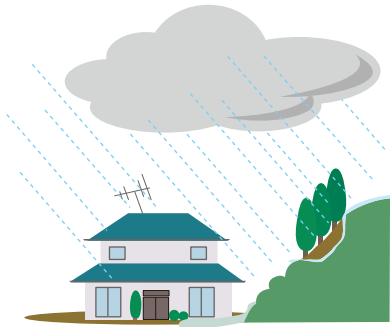
橋本市民病院
西谷 優姫

「私のちからの源」

目指していた看護師になり橋本市民病院で働き始めて約 3 ヶ月が経ちました。日々学ぶ事が多いなかで、自分の力量不足や知識不足に悔しさを感じる事も多々あります。しかし、そこで「頑張ろう」と踏ん張れるのは、常に温かい指導を下さる病棟の先輩スタッフの方々、そして未熟な私に「いつもありがとうね」と微笑みかけてくれる患者さんのおかげです。先輩スタッフや患者さんの言葉には何度も助けられ、救われています。私も患者さんのちからの源になることを目標に成長していきたいです。

和歌山県看護協会の災害への取り組み 1

和歌山県看護協会 専務理事（災害担当） **小泉 美穂**



今回、広報委員会の依頼により、看護協会の災害への取り組みについて3回にわたり掲載をすることになり、第1回は、担当理事が看護協会の災害への取り組みを、その後災害看護対策委員会が活動について報告します。

和歌山県看護協会の災害への取り組みは、1. 災害支援ナースの育成、2. 災害支援ナースの派遣に関すること、3. 日本看護協会との合同訓練があります。

1. 災害支援ナースの育成について

災害支援ナースの必要要件は、災害看護の基礎知識、災害看護Ⅱ（実務編）を受講し、5年以上の経験があること、となっています。現在、登録者は171名（内訳は、保健師1名、助産師13名、看護師157名）です（表1）。

災害支援ナースへの登録は、2年毎の9月に継続申請と新規登録を募るので、災害看護Ⅱまで受講されている方は是非、今年度登録をお願いします。

また、災害支援ナース登録後、フォローアップ研修などを受講されていない方は、是非この機会に受講し、最新の災害支援を学習していただきたいと思います。

その他に災害支援ナース指導者養成研修があり、これまでに災害拠点病院、災害支援病院から12名の方が指導者となり、研修時のファシリテーターとして活躍してくれています。

表1 各施設の災害支援ナース登録者数（H30年4月1日現在）

No.	施設名	登録者数	No.	施設名	登録者数
1	橋本市民病院	14	17	伏虎リハビリテーション	1
2	県立医科大学附属病院紀北分院	6	18	海南医療センター	12
3	県立高等看護学院	1	19	恵友病院	2
4	南労会 紀和病院	2	20	国保野上総合病院	6
5	博寿会 山本病院	1	21	有田市立病院	3
6	高野町立高野山総合診療所	1	22	済生会有田病院	7
7	公立那賀病院	21	23	県立こころの医療センター	2
8	紀の川クリニック	1	24	国保日高総合病院	9
9	殿田胃腸肛門病院	1	25	社会医療法人 北出病院	6
10	和歌山つくし医療福祉センター	2	26	紀南病院	15
11	県立医科大学附属病院	12	27	白浜はまゆう病院	7
12	和歌山労災病院	11	28	くしもと町立病院	4
13	中谷病院	1	29	那智勝浦町立温泉病院	2
14	児玉病院	1	30	日々記念病院	1
15	済生会和歌山病院	7	31	新宮市立医療センター	11
16	角谷整形外科病院	1			
	小計	83	小計	88	
	合計			171	

<災害看護フォローアップ研修>

番号	研修会名	ねらい	内容	講師	開催日	期間/定員	開催場所	募集期間	受講料
32	災害看護フォローアップ研修対象者	災害支援ナースの活動や役割を再認識し、今後の活動に活かす。	・実際の活動場所での活動状況	黒澤和子 和心	11月29日(木) 10:00~16:00	1日 100名	看護研修センター	9月3日(月)~ 9月18日(火)	会員 3,000円
33	①災害支援ナース登録者で、平成27.28.29年度の災害看護Ⅱ、災害看護フォローアップ研修を受講していないもの	災害支援ナースのネットワークづくりや相互支援を図る。 特殊災害に対する専門知識を再確認する。	・実際の現場で実践できるシミュレーション研修 ・物品がない中での援助方法		11月30日(金) 10:00~16:00	1日 60名	ビッグU	9月3日(月)~ 9月18日(火)	

災害支援ナース指導者育成

- 和歌山県立医科大学附属病院(2)
- 日本赤十字社和歌山医療センター
- 和歌山労災病院(1)

- 済生会 和歌山病院(1)
- 海南医療センター(1)
- 国保野上厚生総合病院

- 有田市立病院(1)
- 済生会有田病院

- 国保日高総合病院(1)
- 国立病院機構 和歌山病院
- 黎明会 北出病院

- 紀南病院(1)
- 白浜はまゆう病院(1)

- 拠点病院 ●指導者あり
- 災害支援病院 ■指導者あり ()指導者数



▲和歌山県大規模地震時医療活動訓練の様子

2. 災害支援ナースの派遣に関すること

一昨年から、「災害看護支援マニュアル」の作成に取り組み、近々発刊予定です。今年度からは、災害支援ナースが派遣時に持つポケットマニュアルを作成中です。

また、派遣時に必要な物品を購入し、必要な方には貸し出せるよう整備をしました（写真）。その他、平成24年度から和歌山県と、平成29年度から海南市と災害協定を結び災害時には県の要請に応じ派遣する体制ができました。また、福祉保健部の協力のもと、広域災害救急医療情報システム（EMIS）が配備され、災害時の情報収集におおいに役立つことと思われます。

【写真上】 ビブス

【写真下】 マット・寝袋・ヘルメット・リュックなど



「災害支援ナース」の派遣の仕組み

大規模自然災害発生時には、災害の規模などに応じて「レベル1・2・3」に区分し、災害レベルごとに定められた方法で、本会または災害が発生した都道府県看護協会が協定書に基づき「災害支援ナース」の派遣調整を行っています。

今回の豪雨災害については、7月15日現在、広島県・愛媛県ではレベル1、岡山県ではレベル2の対応となっています。

災害対応区分	災害支援ナースを派遣する看護協会	派遣調整
レベル1 (単独支援対応) 被災県看護協会のみで看護支援活動が可能な場合	被災県看護協会	被災県看護協会
レベル2 (近隣支援対応) 被災県看護協会のみでは困難または不十分であり、近隣県看護協会からの支援が必要な場合	被災県看護協会および近隣県看護協会	日本看護協会
レベル3 (広域支援対応) 被災県看護協会および近隣県看護協会のみでは困難または不十分であり、活動の長期化が見込まれる場合	全国の都道府県看護協会	日本看護協会

「災害支援ナース」の要件

「災害支援ナース」に登録するための要件は、以下の通りです。

- 都道府県看護協会の会員であること
- 実務経験年数が5年以上であること
- 所属施設がある場合には、登録に関する所属長の承諾があること
- 災害支援ナース養成のための研修を受講していること

また、「災害支援ナース」として登録する際に望ましい条件は、以下の通りです。

- 定期的（1年に1回程度）に本会または都道府県看護協会で開催する災害看護研修もしくは合同防災訓練への参加が可能
- 災害看護支援活動も補償の対象に含まれる賠償責任保険制度に加入している。
- 帰還後に都道府県看護協会が主催する報告会・交流会などへの参加が可能。

（公益社団法人 日本看護協会）

3. 日本看護協会などの合同訓練について

昨年秋に日本看護協会との合同訓練で災害支援ナース受け入れの訓練をしました。南海トラフの巨大地震が発生し、和歌山県を含む太平洋側の6県が被災し甚大な被害が出ているという想定で、県内3施設、県立医科大学附属病院、国保日高総合病院、新宮市立医療センターの3つの災害拠点病院が被災し、他府県から災害支援ナースを受け入れるという訓練を3日間かけて行いました。

また、日頃から和歌山県、和歌山市の災害医療対策会

議に参画し、昨年度は大規模地震時医療活動訓練で、和歌山県、和歌山市の本部で待機をしました。

和歌山県看護協会では、日本看護協会との災害支援ナース派遣合同訓練時、災害支援ナース登録施設との連絡を、saigai@wakayama-kangokyokai.or.jpで情報交換をしています。

災害発生時は、会員・非会員施設に関わらず、このアドレスに救援、情報提供の連絡用にお使いください。

最後に、災害看護対策委員会に関わらず、昨年度より委員の任期を1期で終わることなく、2期、3期と継続して委員に就任して頂くことを看護管理者に依頼したところ、多くの方にご賛同をいただき、大変感謝しています。会員の皆様からのご意見・ご要望をお聞きし、皆様に還元できるよう今後も研鑽していきます。

医療安全

数珠つなぎ



南和歌山医療センター

西尾 育子

当院看護部では、転倒転落や誤薬という、インシデントの王道のものが多いです。その都度分析を行っています。報告数は変わらない現状です。

最近個人情報に関するインシデントが発生し、対策が望まれるところです。実際に取り扱う人が確実に確認することの徹底、個人情報を取り扱っているという意識を持つという所に注力したいです。昨年度の医療安全研修は「個人情報保護」今年度は「サイバーセキュリティ」を計画しています。意識を変える事の大切さ、難しさにまみれながら頑張りたいです。

次回号に紹介させていただく方は、玉置病院 北谷 厚子様です

訪問看護ステーションだより



一般社団法人 幹 ^{みき} 幹在宅看護センター

代表理事 丸山 美智子

幹(みき)在宅看護センターは平成30年3月に紀の川市貴志川町に開設しました。0歳の赤ちゃんから高齢者への在宅看護、そして看取りをおこなっています。また障害福祉事業所での就業経験を活かし、精神をはじめ各障害の方に必要な障害福祉サービス提供事業所と連携し、在宅看護を提供しています。スタッフは看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、看護補助員と多職種で、年齢層は30代から60代と幅広く活気があり、よく学びよく遊びを徹底しています。

看護を通じて「笑顔の瞬間」を提供することを理念とし、在宅療養生活の中で利用者さん・ご家族が笑顔になれるよう、生活に寄り添う看護を提供していきたいと思っています。

月に1度のランチオンセミナーを企画しスタッフそれぞれの得意分野についての学習会、研修後の伝達講習会などで知識・技術を深めています。よちよち歩きの訪問看護ステーションですがよろしくお願いたします。

リレーエッセイ

友達の

輪

Vol.60

公立那賀病院

赤井 康行



看護師になって今年でちょうど10年目になります。現在は那賀病院で勤務しています。8年間循環器内科でしたが、去年から脳外科・整形外科に異動になりました。環境も変わり覚えることも多いですが、パートナーシップのお陰もあり仲間を支えられながら楽しく勤務しています。これからも患者さんが笑顔になれるように看護を提供していきたいと思っています。

今回は、訪問看護ステーション 千の堂脇さんをご紹介します。

男の時短料理

第9回

「麻婆豆腐」

新宮市立医療センター

川口 智洋



材料

- 絹ごし豆腐 1丁
- 餡
 - ・豚ひき肉 100g
 - ・ゴマ油 大さじ2
 - ・鶏がらスープ 小さじ1/2
 - ・チューブにんにく 2cm位
 - ・チューブしょうが 2cm位
 - ・水 100cc
 - ・焼き肉のたれ 100cc
 - ・片栗粉 小さじ2

作り方

1. 豆腐はスプーンですくって耐熱皿に盛りつけ、ラップをして電子レンジで3分加熱する。
2. 豆腐から出た余分な水分は捨てる。
3. 耐熱皿に餡の材料をすべて入れてよく混ぜる。
4. 電子レンジで6分加熱する。
5. 途中取り出してよくかき混ぜる。
6. 豆腐に餡をかけ、ねぎやみょうがなどの薬味をかける。お好みでラー油や山椒などをかけてでき上がり。

施設だより

国保日高総合病院



国保日高総合病院は、一市五町が母体の自治体病院で、医療圏内で唯一の産科・小児科の入院設備や、精神科病棟を併設している救急指定病院です。また、地域の中核病院として地域医療に貢献することを使命とし、病診連携休日急患診療や土曜日の病診連携小児救急診療を実施しています。

日々変化する医療界の流れに沿うように、当院も大きく変化しました。平成23年、看護師不足のため一病棟休床を封切りに、26年循環器内科開設、同時看護専門学校開校、27年には地域包括ケア病棟開設、28年歯科口腔外科を開設しました。そして昨年4月には、日高看護専門学校第1期生を含む総勢33名、過去に経験したことのない新人を迎え入れ、6月には休床病床を再稼働、9月に回復期リハビリテーション病棟に転換となりました。看護部としては、めまぐるしく変化していく現状を受け入れながらも、看護部の理念にある「安全で信頼され、心のかもった看護の提供」をしています。

自施設で取り組んでいる最新情報について

看護部長
小松 香世美

激動の7年が過ぎ、ようやくリニューアルした国保日高総合病院がスタートしました。当院は地域の中核病院として急性期医療を担っており、さまざまな重症患者に対する医療・看護が求められる一方で地域包括ケアシステムを見据えた対応が必要であると考えます。そうした中で、昨年10月「入院準備センター」を立ち上げ、入院前からの支援を開始しました。そして4月に入退院支援の強化を図るため、既存の退院支援室と統合し「入院・退院支援室」として活動しています。主治医、受け持ち看護師、退院支援看護師、MSW等多職種が互いに情報共有し、連携することで切れ目のない患者支援体制が構築できると考えます。

地域の状況を背景に、看護部長として自施設の役割を明確にし、人と人とのふれあいを大切に人材育成にも力を入れ、看護職が生き生きと働くための働きやすい職場をつくり、看護部は様々な環境の変化に適応しながら、成長し続ける組織でありたいと考えます。

第30回

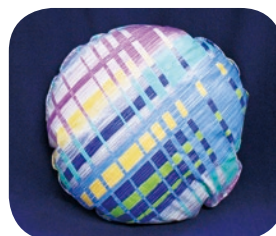
プレゼント!

はがきに ①希望の商品名 ②氏名 ③会員番号 ④郵便番号・住所 ⑤電話番号 ⑥勤務先名 ⑦本紙へのご意見・ご要望を明記の上、9月25日(火)までにお送りください。

(消印有効・1人1通のみ)

抽選の上、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

宛先 〒642-0017 海南市南赤坂17 和歌山県看護協会 「8月号プレゼント」係



「足まくら」
を
2名様に!

どちらか1つ
当たります!

「クオカード」
1,000円分を
3名様に!

プレゼント
応募者の
声

- 各々のコーナーでの先輩方のお話を拝見させて頂いています。
- 男の時短料理、参考にしてます。

ナースディフェスタ和歌山 5月6日開催

白衣体験、唾液アミラーゼ測定、骨密度測定、Wマコト氏による「笑う！学ぶ！力がつくコミュニケーション！」講演を開催しました。

国保野上厚生総合病院附属看護専門学校の学生さんがお手伝いに来てくださいました。また、和歌山県のPRキャラクター「きいちゃん」も「ナースディフェスタ」のPRに来てくださいました。

参加者から「たくさんの体験が出来て勉強になりました。明日から笑顔でがんばります！」との感想がありました。



世界禁煙デーフォーラム 2018

社会経済福祉委員 竹中 武馬

5月27日に「世界禁煙デーフォーラム2018」が県立和歌山工業高校で開催されました。今回のテーマは、新型タバコの真実でした。そこで加熱式タバコや電子タバコについての健康被害などの説明がありました。

電子タバコの宣伝文句に『有害成分の量が約90%低減した』とされていますが、健康被害が90%低減したわけではなく、インターネット調査にて37%が喉の痛みや気分が悪くなったという回答がみられています。電子タバコなので大丈夫という間違った解釈をしている方が多く、今後の禁煙活動の課題とされていました。

田淵先生（大阪国際がんセンター）の講義のなかで、「喫煙者はタバコの被害者であるが他人に煙を吸わせて危害を加える加害者にもなる。」という言葉が印象的でした。自分も半年前まで喫煙をしていました。知らないうちに他人への危害を加えていたのかも知れません。

新型タバコの普及により禁煙活動がより難しくなっています。

真の健康社会とは、禁煙をすすめる喫煙がなくなることです。社会から喫煙がなくなる日まで、どれだけの時間がかかるかわかりませんが社会全体で取り組み、医療従事者が喫煙リスクを理解し、禁煙への取り組みを積極的に行なっていくべきであると感じました。

第234回全国禁煙アドバイザー育成講習会に参加して

社会経済福祉委員 中尾 由美

平成30年6月3日に日本赤十字社和歌山医療センターにて禁煙アドバイザー育成講習会が開催され参加させて頂きました。『職場の禁煙推進のための基礎知識』と『KKE』に見る禁煙支援のエビデンスと加熱式タバコ』について話がありました。

タバコが悪いとわかっていながら喫煙してしまう、だから電子タバコに替える人がいます。それだったらやめませんか？といったように禁煙を支援する内容でした。「職場で禁煙対策を推進していくのは難しく、電子タバコに替えたところで有害成分がなくなるわけがなく、受動喫煙による健康被害はなくなるはずがない。」

ある国でPM2.5が問題になっていますが、タバコからの煙にも含まれます。PM2.5が悪いと言いながらマスクをしている人が喫煙者だったりします。アドバイスをしたいが職場の喫煙者である上司や職場内からの反発に躊躇してしまい難しいと感じました。

午後からの『防煙教室～生ライブ～の講習』では22歳までに喫煙しなければ禁煙できるといった内容で「子どもの時に喫煙した場合将来喫煙してしまう。」そのため防煙することが大切である。この講習に参加したからには少しでも禁煙する人の力になればと思い、まずは家族から挑戦していきたいと思います。

東洋羽毛の 無料!! コーヒーサービス

東洋羽毛では、お世話になっている方々に無料コーヒーサービスを行っております。院内での師長会議・主任会議・ラダー研修会・研究発表会・勉強会等、地域や支部での看護部長会・看護研修会等での休憩時にホッと一息つきませんか？

どんな所でも無料で出張サービスさせていただきます



0120-88-2104



片隅にちょっとだけ、企業PRとしてお布団を置かせて頂いております。ご購入にも応じます。

東洋羽毛関西販売株式会社

お気軽に御利用ください。

平成 30 年度公益社団法人日本看護協会通常総会が 6 月 12 日神奈川県のパシフィコ横浜にて開催され、代議員として参加したので報告する。総会の参加者は代議員 748 名を含み計 3,433 名であった。

まず、神奈川県看護協会 花井恵子会長より歓迎の挨拶があり、続いて福井トシ子会長は「日本看護協会は昨年、創立 70 周年を迎え、地域包括ケアシステムの構築が進められる中、医療と生活の両方の視点を持つ看護職への期待は、さらに高まっている。70 周年を迎えるに際し、看護職の役割と看護協会としての決意を伝えるタグライン『生きるを、ともに、つくる。』を策定した。全ての看護職、共に保健・医療・福祉に関わる専門職、地域で暮らす人々、そして社会全体と広く共有し、本会と一人一人の看護職が、これまで以上に役割を果たしていくことに繋げたい。」と力強く挨拶された。

その後、平成 30 年度の重点政策・事業として

- (1) 看護基礎教育制度改革の推進
(看護基礎教育の 4 年制化の実現を強く要望)
 - (2) 地域包括ケアにおける看護体制の構築
(看護管理者連携強化プロジェクト)
 - (3) 看護職の働き方改革の推進
(ヘルシーワークプレイス・健康で安全な職場)
 - (4) 看護職の役割拡大の推進と人材育成
(現行の認定看護師制度に特定行為研修を組み込み再構築する方針を組織決定)
- についての説明が行われた。

引き続き、日本看護協会長表彰が行われ、表彰者は 134 名で、和歌山県からは上田陽子様が表彰された。上田陽子様は協会の理事、役員を歴任し、協会発展に尽力され、現在はナースセンター推進委員として活躍している。

決算・報告事項に続き、質疑として

- ① 特定行為研修制度の活用や支援について
- ② 准看護師養成停止における課題解決に向けた取り組みについて
- ③ 地域包括ケアシステムにおける看護の将来ビジョンについて

等があげられた。執行部からの回答は、①について、特定行為研修制度に関しては受講者の増加に向けた情報を多く発信し、訪問看護ステーションの看護師も受講しやすく、活用イメージが持てるようにすること、また都道府県行政や指定研修機関申請予定の看護管理者等を対象とした相談対応を行うこと等であった。②については、対象者への奨学金情報が十分に届いていない実態に対し、情報の周知徹底を行うこと、看護師になる道への拡大やオンデマンドによる研修試行の充実に努めることであった。③については、看護師はキーパーソンであり、とりわけ看護管理者と行政保健師に求められる役割の明確化と連携の推進を行うことであった。

改正役員及び推薦委員選挙結果については、和歌山県看護協会長を含め候補者全員が当選された。

以上

平成 29 年度 第 6 回理事会

日 時 / 平成 30 年 3 月 14 日 (水)
13:00 ~ 16:30
場 所 / 看護研修センター 会議室 1

I. 【協議事項】

- (1) 看護協会長表彰について
- (2) 平成 30 年度重点事業概要 (案) 及び平成 30 年度事業計画 (案) について
- (3) 平成 30 年度教育計画概要 (案) について
- (4) 平成 30 年度収支予算 (案) 及び資金調達、設備投資の見込み (案) について
- (5) その他 以上 承認

II. 【報告事項】

- (1) 日本看護協会理事会報告
- (2) 日本看護協会主催会議報告
- (3) 担当理事報告
- (4) 県内関連団体会議参加報告
- (5) 和歌山県看護協会のコーポレートアイデンティティについて
- (6) 会員数について (7) その他

平成 30 年度 第 1 回理事会

日 時 / 平成 30 年 4 月 18 日 (水)
13:00 ~ 16:30
場 所 / 看護研修センター 会議室 1

I. 【協議事項】

- (1) 平成 29 年度事業実施報告 (案) について
- (2) 平成 30 年度和歌山県看護協会役員及び推薦委員について
- (3) 平成 30 年度日本看護協会代議員及び予備代議員について
- (4) 常任・特別委員の諮問事項について
- (5) 常任・特別委員 (案) について
- (6) 各地区事業計画予算 (案) について 以上 承認

II. 【報告事項】

- (1) 日本看護協会主催会議報告
- (2) 県内関連団体会議参加報告
- (3) 会員数について (4) その他

平成 30 年度 第 2 回理事会

日 時 / 平成 30 年 5 月 21 日 (月)
13:00 ~ 16:30
場 所 / 看護研修センター 会議室 1

I. 【協議事項】

- (1) 平成 29 年度 決算報告について
- (2) その他 以上 承認

II. 【報告事項】

- (1) 日本看護協会理事会報告
- (2) 県内関連団体会議参加報告
- (3) 会員数について (4) その他

平成 30 年度 第 3 回理事会

日 時 / 平成 30 年 6 月 15 日 (金)
13:00 ~ 14:00
場 所 / 看護研修センター 会議室 1

I. 【協議事項】

- (1) 役員を選任について
- (2) 円滑な事業運営について (理事会などの年間計画について)
- (3) その他 以上 承認

II. 【報告事項】

- (1) 平成 30 年度事業計画について
- (2) 日本看護協会理事会報告
- (3) 県内関連団体会議参加報告
- (4) 会員数について (5) その他

平成 30 年度 第 4 回理事会

日 時 / 平成 30 年 7 月 10 日 (火)
13:00 ~ 16:30
場 所 / 看護研修センター 会議室 1

I. 【協議事項】

- (1) ナース草の推薦について (2) その他 以上 承認

II. 【報告事項】

- (1) 日本看護協会主催会議報告
- (2) 県内関連団体会議参加報告
- (3) 会員数について (4) その他

和歌山県
看護協会の
動き

平成30年度 役員および各委員会名簿

★印は委員長

役職名	氏名
役員	
会長	古川 紀子
副会長	東 直子
副会長	石本 千珠
専務理事	小泉 美穂
常任理事	山本 喜久子
書記長	山本 美代子
職能理事(保健師)	小川 政予
職能理事(助産師)	慈 幸奈
職能理事(看護師Ⅰ)	稲垣 伊津穂
職能理事(看護師Ⅱ)	東 るみ子
地区理事(伊都)	糺 博子
地区理事(那賀)	藤本 美幸
地区理事(和歌山)	廣瀬 朱実
地区理事(海南・海草)	楠岡 誠
地区理事(有田)	松下 津也子
地区理事(日高)	小松 香世美
地区理事(田辺)	小鈴木 正代子
地区理事(新宮・串本)	貴志 福子
准看護師理事	狩谷 勇人
監事	温 忍子
//	澤 越 純子

職能委員	
保健師職能委員	★小川 政予 松尾 真由美 中井 光代 坂部 美紀 貝岐 晶子 秦野 美智代 古谷 奏 中井 沙紀
助産師職能委員	★慈 幸奈 片山 祐理 冲谷 前弘 和所 直美 稲葉 ひとみ 松本 直子 井上 美和
看護師職能委員Ⅰ	★稲垣 伊津穂 米谷 江里 榊森 裕子 玉置 千津子 奈良 園子 加藤 博之 木村 和美
看護師職能委員Ⅱ	★東 るみ子 佐藤 房子 井上 加恵 平岡 桃重 柏谷 恵子 矢出 装子 岩根 直美 森 かな江

役職名	氏名
常任委員	
社会経済福祉委員	★嶋津 覚 藤原 昌子 中尾 由美 小川 美知 小竹 中武 須崎 智馬 松岡 淑之 井口 寿美 服部 園美 日浦 恵子 堀 紀陽 田口 真理子 山本 咲良 楠本 昌代 小原 喜代子 西山 涼子 小原 和美 田村 愉香 藤井 照美 宮本 美紀 米坂 知子 前田 美恵子 市野 浩美 二河 良成 小原 美音
教育委員	★須崎 智馬 松岡 淑子 井口 寿美 服部 園美 日浦 恵子 堀 紀陽 田口 真理子 山本 咲良 楠本 昌代 小原 喜代子 西山 涼子 小原 和美 田村 愉香 藤井 照美 宮本 美紀 米坂 知子 前田 美恵子 市野 浩美 二河 良成 小原 美音
広報委員	★藤井 照美 宮本 美紀 米坂 知子 前田 美恵子 市野 浩美 二河 良成 小原 美音 吉岡 亜季 清水 多津子 川北 ひとみ 森田 美千子 山田 恵美 柳岡 和倫 曾 精子 茨向 友代 山口 昌子 久保 乃英 児玉 麻里 宮崎 清恵 城 真美 一 色 啓
医療安全対策委員	★小原 美音 吉岡 亜季 清水 多津子 川北 ひとみ 森田 美千子 山田 恵美 柳岡 和倫 曾 精子 茨向 友代 山口 昌子 久保 乃英 児玉 麻里 宮崎 清恵 城 真美 一 色 啓
災害看護対策委員	★山田 恵美 柳岡 和倫 曾 精子 茨向 友代 山口 昌子 久保 乃英 児玉 麻里 宮崎 清恵 城 真美 一 色 啓
看護研究学会委員	★山口 昌子 久保 乃英 児玉 麻里 宮崎 清恵 城 真美 一 色 啓

特別委員	
「まちの保健室」運営委員	★福壽 和美 丹田 令子 後藤 智子 金本 純子 佐伯 真希 高垣 通代 上田 陽子 櫻根 桂子 芝崎 千鶴 野村 眞佐江
ナースセンター推進委員	★高垣 通代 上田 陽子 櫻根 桂子 芝崎 千鶴 野村 眞佐江

役職名	氏名
認定看護管理者 教育運営委員	★岡本 恭子 高岸 壽美 芝瀧 ひろみ 西山 登志子 林 千冬 高村 昌枝 芝田 里花 早田 修平 上葛 順子 西川 滋子 栗山 文枝 日置 真弓
認定看護師 フォローアップ委員	★芝田 里花 早田 修平 上葛 順子 西川 滋子 栗山 文枝 日置 真弓

その他委員

ワーク・ライフ・バランス 推進委員	★池田 亜矢子 釜坂 加寿恵 辻 あさみ 小林 春子 仲澤 妙美 谷本 大助 東 直子 小松 香世美
認定看護管理者会	★高岸 壽美 仲澤 妙美 黒田 美也子 角谷 知恵美 池本 義子 釜坂 加寿恵 藤本 由美子 名越 民江 黒田 美也子 仲澤 妙美 鳴尾 悦子 高岸 壽美 池下 ゆかり 西原 真由美 川本 利恵子 小泉 美穂 日裏 明美 山本 昌代 宮本 靖代 東山 好美 村上 きみよ 上中 まゆみ 上田 裕子 柏谷 恵子 日裏 明美 神戸 祥子 小久保 操 丸山 昌子 藤井 照美
日本看護学会 - 看護教育 - 学術集会準備委員	★藤本 由美子 名越 民江 黒田 美也子 仲澤 妙美 鳴尾 悦子 高岸 壽美 池下 ゆかり 西原 真由美 川本 利恵子 小泉 美穂 日裏 明美 山本 昌代 宮本 靖代 東山 好美 村上 きみよ 上中 まゆみ 上田 裕子 柏谷 恵子 日裏 明美 神戸 祥子 小久保 操 丸山 昌子 藤井 照美
推薦委員	★藤本 由美子 名越 民江 黒田 美也子 仲澤 妙美 鳴尾 悦子 高岸 壽美 池下 ゆかり 西原 真由美 川本 利恵子 小泉 美穂 日裏 明美 山本 昌代 宮本 靖代 東山 好美 村上 きみよ 上中 まゆみ 上田 裕子 柏谷 恵子 日裏 明美 神戸 祥子 小久保 操 丸山 昌子 藤井 照美
選挙管理委員	★藤本 由美子 名越 民江 黒田 美也子 仲澤 妙美 鳴尾 悦子 高岸 壽美 池下 ゆかり 西原 真由美 川本 利恵子 小泉 美穂 日裏 明美 山本 昌代 宮本 靖代 東山 好美 村上 きみよ 上中 まゆみ 上田 裕子 柏谷 恵子 日裏 明美 神戸 祥子 小久保 操 丸山 昌子 藤井 照美